

栃木県がん対策推進計画（4期計画）ロジックモデル

資料3

番号	(C) 施策
----	--------

	個別施策	指標
1	たばこによる健康影響の普及啓発と働く世代への禁煙支援	20歳以上の者の喫煙率
2	効果的な受動喫煙対策の推進	受動喫煙の機会を有する者の割合（職場・家庭・飲食）
3	生活習慣の改善について働く世代への効果的な普及啓発	食塩・野菜・果物摂取量、運動習慣者の割合、リスク飲酒者の割合

	個別施策	指標
4	肝炎に関する正しい知識の普及啓発	肝炎ウイルス検査受検率（国保加入者40歳検診対象者）
5	肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップ・治療の推進	
6	HPVワクチン予防接種の県民への理解と啓発	HPVワクチン実施率（定期接種1回目）

	個別施策	指標
7	市町、企業等と連携した効果的な普及啓発	がん検診・精検受診率（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）
8	受診勧奨や検診実施等の効果的な取組事例の市町との情報共有	
9	がん検診従事者への研修、検診実施体制等の評価及び結果の公表、がん登録情報の活用	
10	個別検診実施機関の事業評価への取組の促進	個別検診実施機関に関する事業計画の実施市町数

	個別施策	指標
11	医療安全、チーム医療、医療の質、リハビリ等の取組への支援	がん拠点病院の診療実績（院内がん登録数、手術件数、薬物療法患者数、放射線治療患者数、緩和ケアチーム新規患者数、医療圏診療実績）
12	拠点病院と地域の医療機関等との役割分担と連携強化への支援	
13	地域の実情に応じたがん医療の均てん化・集約化の取組への支援	
14	各医療機関の医療技術を活用した医療提供体制の集約化の推進	
15	がんゲノム医療・小児・AYAがん医療、希少がん・難治性がん等の医療体制の整備	小児がん診療実績（年間入院患者延べ数・外来患者延べ数・他施設から受け入れた患者数・患者の紹介を受けた医療機関数） 希少がん症例数
16	がんの診断時から適切な緩和ケアを提供する体制整備の推進	拠点病院等の緩和ケアチーム新規平均患者数
17	苦痛の把握、主治医と緩和ケアチームの連携強化、緩和ケアの質の評価・改善等への取組の支援	身体的苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると思う患者の割合等
18	地域課題への取組による切れ目のない緩和ケアの提供体制の整備	緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数、地域の施設が開催する他職種連携カンファレンスに参加した年間回数、自施設でがん診療を受けている緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数
19	拠点病院等と地域の医療機関との連携体制の整備	
20	緩和ケア研修会の開催による円滑な地域連携の推進	
21	人材の育成・確保	緩和ケア研修会修了者数（拠点病院等以外の施設の医師・歯科医師） 県内のがん等に関する医療従事者数（がん治療認定医等）

	個別施策	指標
22	がん相談支援センターの利用促進	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合 がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数
23	相談支援体制の充実	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数
		ピアサポーター養成数
		患者サロン開催数
24	がん患者等が働きやすい職場環境づくり	がんの治療等のために通院しながら働き続けられる環境にあると思う県民の割合 がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合
25	就労支援体制の充実	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数
26	自殺リスクへの相談支援やがんの正しい理解に向けた普及啓発	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合
		がんと診断されてから周囲に不必要に気を遣われていると感じる割合
27	小児・AYA世代のがん患者支援の充実	妊孕性温存療法・温存後生殖補助医療費助成件数
		アピアランスケア助成件数
		在宅ターミナルケア実施市町数・助成人数
		妊孕性温存療法実施指定医療機関数
28	小児・AYA世代のがん医療提供体制の充実	小児がん診療実績（年間入院患者延べ数・外来患者延べ数・他施設から受け入れた患者数・患者の紹介を受けた医療機関数）（再掲）
29	小児・AYA世代のがん患者の保育環境・教育環境の充実	入院中の小・中・高校生に対する学習支援延べ件数
30	高齢がん患者とその家族等の療養生活を支えるための体制整備	人生会議（ACP）に係る認知度
31	学校におけるがん教育を推進するための環境整備	がんについての認知度

番号	(B) 目標（目的を達成するためにクリアすべきステップ、ゴール；中間アウトカム）
----	--

1	がんの予防及び早期発見ができています
1	指標 がん罹患率
2	指標 早期がん割合（全国がん登録：進展度・総合、上皮内と限局の割合）

2	がん医療が充実している
1	指標 がんの診断・治療全体の総合的評価
2	指標 納得のいく治療を選択できたと思うがん患者の割合
3	指標 がん拠点病院の診療実績（院内がん登録数、手術件数、薬物療法患者数、放射線治療患者数、緩和ケアチーム新規患者数、医療圏診療実績）

3	がん患者やその家族を支える環境が整っている
1	指標 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合
2	指標 がんやがん治療に伴う身体的苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っている人がいない

番号	(A) 目的（あるべき姿；分野アウトカム）
----	-----------------------

1	がんによる死亡率の減少
1	指標 がんの年齢調整死亡率
2	指標 5年相対生存率

2	すべてのがん患者の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
1	指標 身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合
2	指標 精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合

3	がんになっても安心して暮らすことができる社会の構築
1	指標 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合